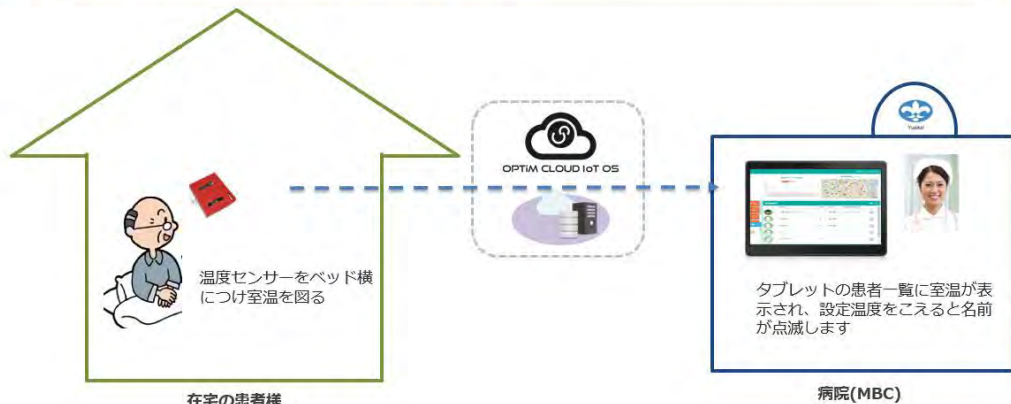


患者様宅の室温管理

■ 患者様宅の室温管理

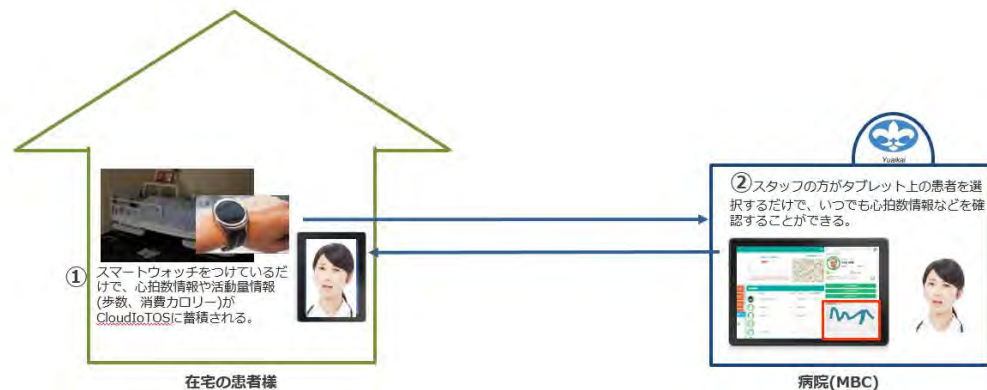
在宅患者様の部屋に温度センサーを設置して、病院のタブレット上の管理画面から**室温が管理**できます。**部屋の温度が設定温度に到達したら、お名前欄が点滅します。**
※点滅はお名前のクリックで解除できます。



心拍数の計測

スマートウォッチをつけているだけで、**心拍数情報**や活動量情報(歩数、消費カロリー)を計ることができます。

※患者様の腕にスマートウォッチの装着をお願いします



AIカメラによる転倒検知機能

(3) 転倒検知機能

ご家族が事前にカメラの作動を許可した時だけカメラ撮影が動作し、AIによる人検知により、時間系列での人の動きを分析、**転倒状態を検知**しアラートを発行する。
(※転倒アラートは、ご家族への通知も可能)



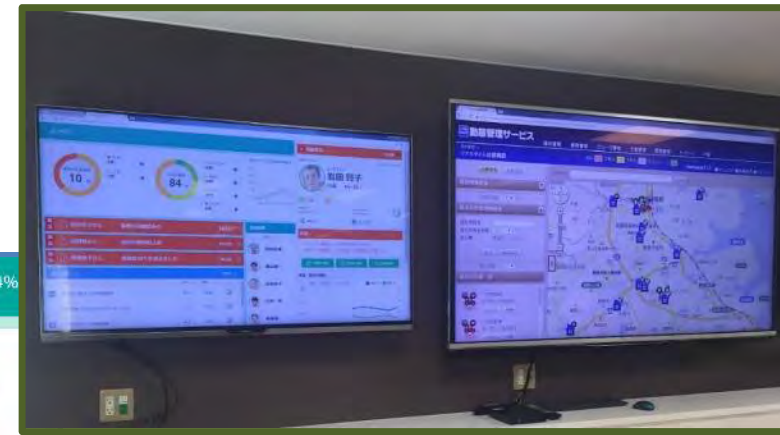
AIカメラによる内服管理

内服管理表が不規則になると、病院へ連絡が行きます。
病院から自宅に連絡をして、必要は自宅訪問を行います。



見守りシステム・モニター

IoT・AIによる在宅見守りの高齢者にアクシデントが起きた場合にアラートが鳴り知らせる。



MBC 14:36:32 12月30日 22℃ 64%

緊急対応の進捗

10 件

- 緊急 3件
- 注意 7件

対応の進捗

84 件

- 対応が必要 36件
- 確認中 24件
- 対応中 18件
- 対応済 6件

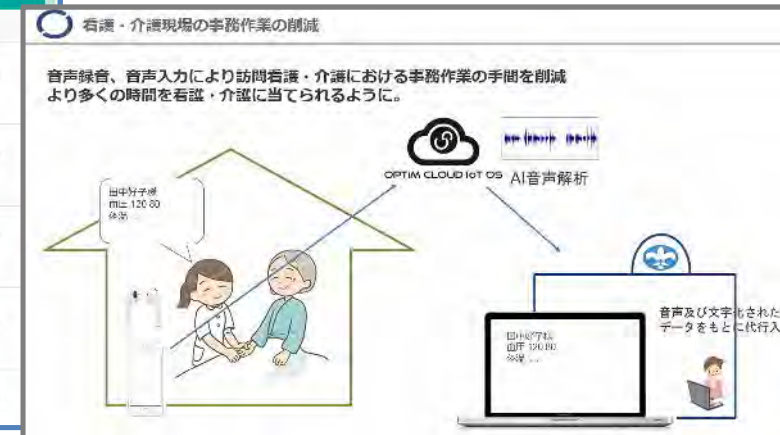
緊急アラートと連絡事項の推移

動態管理サービス

| 緊急 | ⚠ | 転倒の可能性あり | 14:32 |
|------|----|--------------|-------|
| 緊急 | ⚠ | 血圧の急激な上昇 | 14:30 |
| 緊急 | ⚠ | 室温が30℃を超えました | 14:30 |
| おしらせ | | 18件 | |
| 対応 | 状況 | 時刻 | |
| 済 | 完了 | 14:30 | 〇 |
| | 対応 | 14:30 | 〇 |
| 済 | 完了 | 13:25 | 〇 |

経過観察 90件

| 患者 | 顔拍 | レベル | 最新日時 |
|----|-----|-----|-------------|
| | 67 | 介護5 | 12:26/12/30 |
| | 68 | 支援2 | 11:40/12/30 |
| | 120 | 介護5 | 11:30/12/30 |
| | 118 | 支援1 | 11:22/12/30 |
| | 62 | 介護4 | 10:55/12/30 |



要望事項：

1) 基本情報の一元化・共有化

85歳以上の退院患者は、退院直後のケアの継続が重要である。症状が不安定なケースや、家族に不安感が強い場合は、多職種連携・他業種連携は必須であり、多数の人材が患者情報を共有しないと進めない。ただ個人情報保護法の徹底において、他の組織との共同作業は難解な問題である。まずは個人情報管理における信頼関係構築が必須となる。また、ベンダーにより電子化した情報のフォーマットが異なるため、基本情報の一元化・共有化ができない状況も早期に解決しなくてはならない。

2) IoT・AI見守りシステムの構築

独居・老々世帯が増える中、介護人材不足は切実な問題となっている。この問題の対策としてIoT・AIを活用した見守りサービス構築は必須である。現在、同意を得た上で、自宅でアクシデントが起こった場合に、アラートで知らせる実証実験を進めている。在宅医療・介護は、生活上プライバシーの問題など踏込めない課題も多く、より繊細な対応が必要となる。よって多様な対応を可能とするIoT・AIを開発し普及するためには、まずは実証実験の場が必要であり特区を設けることも一考していただきたい。

3) 高齢者世帯ネット環境の整備

高齢者世帯はネット環境が整備されていない場合が多く。退院当日に遠隔診療開始するため、患者の家にタブレットやルーターをつけネット環境を一時的に整備することが必要となるが、レンタル方式であれ、患者の買取方式であれ、一般の医療法人は、原則収益事業不可なので出来ない。そこで、医療法の範疇であることの明示が必要となる。